

「から」と「より」

「から」と「より」を かいてみよう。

学校 がっこう

から

かえった。

さむい

から

セーターを きる。

パンは こむぎこ

から

つくります。

バナナ

より

メロンが すきだ。

うどん じゅう かい は 十じ

より

はじまります。

うどん かい は 十じ

から

はじまります。

「ば」と「ても」(でも)

「ば」と「ても」を かいてみよう。

雨^{あめ}なら

ば

いえで あそびます。

やれ

ば

やるほど おもしろい。

なつが
くれ

ば

おもいだす。

さむく

ても

そとで あそぶ。

ころん

でも

なかない。

「ても」は あそんでもの 「でも」のように
「でも」に なる ことも あるね。





□にはいる ことばを アから ウから えらぼう。

① あつい

ふくをぬぐ。

アは イから ウの

② すいか

メロンがすきだ。

アの イより ウて

③ 学校

かえる。

アから イが ウの

④ 九^くじ

テストをはじめます。

アの イより ウは

⑤ だいず

とうふをつくる。

アに イの ウから

⑥ 七じ

テレビを^み見る。

アから イが ウと



□に「ば」か「ても」(でも)のどちらかをいれよう。

① ゆめなら

さめてほしい。

② あつく

そとであそぶ。

③ やれ

やるほどむずかしい。

④ ころん

いたくない。

⑤ たべれ

おいしい。

⑥ のん

のどがかわく。

⑦ ころべ

いたい。

⑧ つらく

まけない。

⑨ ふゆがくれ

おもいだす。

□にはいる ことばを アから ウから えらぼう。

① さむい ジャケットを きる。

アから イは ウの

② みかん グレープフルーツが すきだ。

アの イより ウて

③ ともだちの いえ かえる。

アの イが ウから

④ 花火^{はなび}たいかい^{はなび}は 七じ はじまります。

アの イより ウは

⑤ だいず とうふをつくる。

アに イても ウから

⑥ 十じ テストを はじめます。

アから イが ウと

□に「ば」か「ても」(でも)のどちらかをいれよう。

① さけん

とどかない こえ

② ねむれ

らくになります。

③ はなし

しんじて もらえない。

④ はれなら

そとで あそぼう。

⑤ つかめ

とれる。

⑥ あそん

あそび たりない。

⑦ こわく

まえに すすむ。

⑧ いわれれ

なおします。

⑨ さむく

そとで あそんだ。



1 □にはいる ことばを アから ウから えらぼう。

① イチゴ

バナナが すきだ。

アより イは ウの

② 学校

えきまで あるく。

アの イは ウから

③ じゅぎょうは 九じ

はじまります。

アの イが ウから

④ うんどうかいは 八じ

はじまります。

アの イより ウは

⑤ こむぎ

パンを つくる。

アに イが ウから

⑥ ねむたい

つめたい ものを のむ。

アから イが ウより



2 □に「ば」「か」「ても」「でも」のどちらかをいれよう。

① はなれ

ついてくる。

② きけ

きくほど おもしろい。

③ とん

とべない。

④ あきがくれ

おもいだす。

⑤ にく

がまんする。

⑥ ゆきな

そとで あそびたい。



1 □にはいる ことばを アから ウから えらぼう。

①

入口 いりぐち

出口 でぐち まで はしる。

アの イは ウから

②

さんすう

こくごが すきだ。

アの イより ウから

③

見たい テレビは ハジ

はじまります。

アの イが ウから

④

あね

あにの ほうが せが たかい。

アが イより ウは

⑤

さむい

セーターを きる。

アの イの ウから

⑥

まめ

なつとうを つくる。

アから イが ウと



2 □に「ば」か「ても」(でも)のどちらかをいれよう。

① 雨^{あめ}なら

かさが ひつようだ。

② きつく

がまんする。

③ はなしをすれ

わかってもらえる。

④ ころん

なかない。

⑤ しれ

しるほど ふしぎな 人だ。

⑥ ちかづい

にげない。

□とおなじ　つかいかたの　文を　えらんで　かこう。

①　かぜが　ふけ**ば**　　気もちいい。

ア　雨^{あめ}**ば**かり　ふっている。
イ　雨なら**ば**　いえに　いよう。

②　ひまわり　**より**　バラが　すきだ。

ア　プール**より**うみで　およぎたい。
イ　**より**みちを　する。

③　ゆめ　**から**　さめる。

ア　学校**から**かえった。
イ　**から**し　マヨネーズ

④　水^{みず}を　のん　**でも**　いない。

ア　小^{ちい}さく**ても**大^{だい}すきだ。
イ　**ても**み　マッサージ

⑤　こむぎこ　**から**　パンを　つくる。

ア　**から**だが　いたい。
イ　ぶどう**から**　ワインを　つくる。

⑥　三じ　 **より**　かいぎを　はじめます。

ア　う^うんど^{いぬ}うかい^は　八じ**より**　はじまります。
イ　犬^{いぬ}に　**より**　そう。

⑥	⑤	④	③	②	①

ただしい 文をつくろう。アから ウから えらんで かこう。

すいか

①

②

③

すきでも すいか しかない。

ア が
イ より
ウ メロン

ころん

④

⑤

⑥

でなかった。

ア でも
イ が
ウ なみだ

えき

⑦

⑧

⑨

あるいて かえる。

ア へ
イ いえ
ウ から

雨なら

⑩

⑪

⑫

あそびましょう。

ア いえ
イ ば
ウ で

はれ

⑬

⑭

⑮

あそぶ。

ア
い え
イ で
ウ ても

□に「から」、「より」、「ば」、「でも」(でも)、を えらんで かこう。

学校

①

かえると テーブルの うえ 上に チョコレー

トと クッキーが ありました。 クッキー

②

チョコ

レートが すきな ちなつさんは チョコレートを たべました。

たべ

③

おなががいっぱいに ならなかったので ク

ッキーも たべました。 カカオ

④

チョコレートが

つくられている ことを した ちなつさんは 「カカオを いえで

つくれ

⑤

いつでも たべられる。」と おもいま

した。 でも ちなつさんの いえは せまい

⑥

つく

ることが できませんでした。